

## ブタン（可燃性ガス 無色・無臭）

分子式	$C_4H_{10}$	分子量	58.1	容器の色	ねずみ色
用途	工業用燃料、オートガス				
該当法規	高圧ガス保安法、消防法、労働安全衛生法、船舶安全法、航空法、港則法				
物理的性質	<p>可燃性の無色・無臭のガス</p> <p>比重：2.01</p> <p>沸点：-42.1～-0.5</p> <p>爆発範囲：1.8～8.4%</p> <p>着火温度：405～550</p>				
化学的性質	<p>炭化水素系溶剤によく溶ける。</p> <p>化学的に安定で大部分の化学試薬と反応しないが空気中でよく燃える。</p> <p>完全燃焼すると炭酸ガスと水になるが不完全燃焼すると一酸化炭素を生成する。完全燃焼するためには約3.1倍の空気量が必要</p>				
注意事項	<p>漏れたガスは空気よりも重く滞留しやすいので、特に通風、換気をよくして爆発性混合ガスにならないように気をつける。</p> <p>特に酸素とは離しておく。</p> <p>充てん容器は、40℃以下になるよう、直射日光を避け、通風の良いところで、転倒、破損が起こらないよう保管する。</p>				

**ブタン (可燃性ガス 無色・無臭)**

**事故時の措置**

消火方法	粉末消火器、大量の水	処理剤	
漏えいしたとき	<p>バルブを閉めるなど、漏えいを止める。</p> <p>容器からの漏えいが止まらない場合は、周囲に火気のない通風のよい場所に移動し、容器を直立させる。</p> <p>施設からの漏えいが止まらない場合には、通風をよくして火気を断つ。事故の発生を大声で告げ、避難させる。</p> <p>作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。</p> <p>119番(消防署)に通報する。</p>		
火災のとき ・ 周辺での火災のとき	<p>貯槽の場合、緊急遮断弁を閉止し、散水装置を始動する。容器の場合、粉末消火器で消火するとともに、大量の水で容器を冷却する。</p> <p>周辺での火災のときは、容器を風上の安全な場所に移動する。移動できない場合は、容器及び周囲に散水する。</p> <p>バーナーを使用する加熱炉など、散水することが逆に危険になる設備に関しては、散水は行わない。</p>		
救急処置	<p>液状のガスが皮膚に付着した場合は、直ちに、冷水で静かに洗い落とす。凍傷にかかった身体部位をこすらないで、無菌の包帯で包む。衣服は脱がせない。</p> <p>大量に吸入した場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、直ちに医師に連絡する。</p> <p>目に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の手当て診断を受けること。</p>		
特記事項 (人体に対する影響)	<p>ブタンガス自身には毒性はないが、濃度が高くなると単純窒息性の危険がある。</p>		
緊急通報例  119(消防署)	<p>1 どこで                    市   町   番地                    (株) 工場で</p> <p>2 なにが                    「可燃性のブタンガス」が</p> <p>3 どうした                「漏れています。(漏れて火災になっています。)」</p> <p>                                  「消防車出動をお願いします。」</p> <p>4 時間は                    時   分   頃   です。</p> <p>5 けが人は                「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」</p> <p>6 私の名前は              工場   課の                     です。</p>		